

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	民家小委員会	主 査 名：土本 俊和 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：伊藤 毅 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民家の歴史的な成立過程と現況を実証的かつ体系的に捕捉していくために、文献ならびにフィールドの調査を実施していくこと。 ・ 調査で得られた知見を、その都度専門家の立場から検証したうえで、組織的に漸次たくわえていくこと。 ・ 以上の作業をふまえ、建築、集落、都市の未来を民家の観点から模索していくこと。 ・ 有意義な知見をテーマに即して整理したうえで、ひろく社会に還元していくこと。 ・ 民家研究に関する人的ネットワークをひろげていくこと。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	土本俊和 (信州大学)、大場修 (京都府立大学)、大野敏 (横浜国立大学)、角幸博 (北海道大学)、高橋恒夫 (東北工業大学) 黒坂貴裕 (奈良文化財研究所)、高橋恒夫 (東北工業大学)、西山和宏 (文化庁)、平山育男 (長岡造形大学)、福井宇洋 (福井大学)、溝口正人 (名古屋市立大学)、三浦要一 (高知県立大学)、御船達雄 (和歌山県文化財センター)、山田由香里 (長崎総合科学大学)、安高尚毅 (島根大学)、長田城治 (東北芸術工科大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2012 年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/c-000/c040-12.html

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
大会研究集会	研究懇談会「災害と民家—もつともながいあいだ、被害をうけてきた日本建築のなかにひそむ知恵の抽出—」 参加者 87 名 資料：同上
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 民家研究の新視点として民家と集落・里山・文化的景観の構築 2. 民家のなかにひそむ、災害に対する知恵の抽出 3. 民家研究の文献目録の更新
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 先人による民家研究の積極的な継承 2. 民家の登録文化財への積極的な推進